

摂津市域と周辺の主な施設・事業所

●国立循環器病研究センター



「病院」「研究所」「研究開発基盤センター」が一体となった高度国立専門医療研究センターで、来年7月の開設を予定しています。

市と国立循環器病研究センターは連携協定を結んでおり、循環器病分野を中心とした予防医療のほか、市民向けの健康教育や啓発、健康づくりに関することなど、さまざまな分野において連携・協力を進めています。

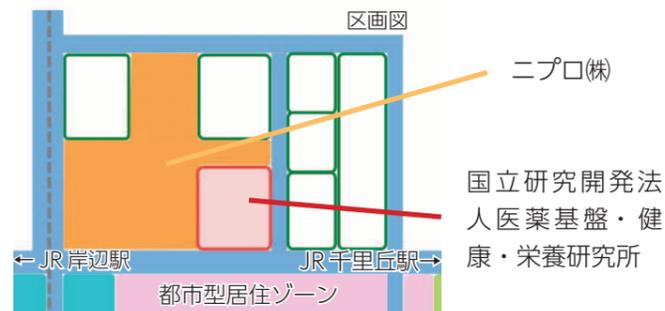
●明和池公園



約10,500㎡の公園。大型遊具や健康器具があります。

また、災害発生時は一時避難所として、物資を保管する防災倉庫、防災用トイレなどの施設を整備しています。

●健都イノベーションパーク



国際級の複合医療産業拠点（医療クラスター）となるよう、約4haの敷地に最先端の健康・医療関連の研究機関や企業の進出を予定しています。市民や地域企業と連携し、健康寿命の延伸やビジネスチャンスの拡大につながる場となることを目指しています。

健都オープンイベント

市民体験教室

ノルディックウォーキング

吹田市民病院 呼吸器・アレルギー内科部長・辻文生氏がノルディックウォーキングの楽しさや効果を説明※健幸マイレージ対象

とき 11月23日(祝)
午後1時半～3時

ところ 明和池公園

定員 40人

申込み 保健福祉課 ☎06 (6383) 1386へ (先着)

市では吹田市と協力し、「健康・医療」をキーワードに北大阪健康医療都市「健都」のまちづくりを進めています。

摂津市域内の都市型居住ゾーンのマンションでは今年3月から入居が始まり、吹田市域内の駅前複合施設が11月にオープンするなど、着々とまちづくりが進んでいます。

来年7月に移転を予定している国立循環器病研究センターと連携を深め、健康で長生きするためのさまざまな取り組みを行っています。

進む健都のまちづくり

北大阪健康医療都市

北大阪健康医療都市(健都)とは

健都は本市と吹田市の両市にまたがる吹田操車場跡地の広大なエリアに、「健康・医療」をコンセプトとした、国立循環器病研究センターなどの医療関係機関や大規模な都市型居住ゾーン、駅前複合施設など多種多様な事業主体が集まったまちです。

摂津市域では国立循環器病研究センター(吹田市にもまたがる)や、最先端の健康・医療関連の企業の進出を予定しているイノベーションパーク、災害時の一時避難所でもある明和池公園、都市型居住ゾーンなどがあります。

☆健都ポータルサイト

吹田市と協力して立ち上げたホームページです。健都のイベントや、各プロジェクトの進捗状況などがまとめられています。



健康づくりのモデルシティに 国立循環器病研究センターと連携

市は「健都」の核となる国立循環器病研究センターと連携して、健康・医療に関するさまざまな取り組みを行っています。

国立循環器病研究センターの予防健診部長・宮本恵宏氏のお話や健康づくりにおける市と連携した取り組みを紹介します。



国立循環器病研究センター
予防健診部長・宮本恵宏氏

健都のテーマは 健康であり続ける

国立循環器病研究センターが摂津市と吹田市にまたがる吹田操車場跡地に移転することが決まったのは、平成25年のことでした。

その際、ただ当センターを移転するだけでなく、周辺の施設やエリアも含めて魅力あるまちにする壮大な「健都」の計画が持ち上がりました。平成26年から摂津、吹田の両市を越えて町づくりをしようとする三師会（医師会・歯科医師会・薬剤師会）で具体的

な検討を始めました。

健都は「健康であり続ける」がテーマです。日本は平均寿命が世界トップレベルで高齢者が増え続けていますが、「病気になるないように予防する。病気になることも健康な時と同じような生活が送れる。」という町を目指して、行政や病院・企業と協力していきます。

平成27年に摂津市と、循環器病分野を中心とした予防医療や、健康づくりに関する連携・協力を進める協定を結びました。

当センターは元々、救急医療に力を入れており、摂津市を始め近隣市町村からの救急搬送の受け入れを積極的に進めてきました。協定締結後は、病気の予防や適切な医療受診、健診の大切さを伝えるために、さまざまな連携事業を行っています。

適切な医療受診 予防の大切さ

具体的には市の特定健診への医師派遣や、健康教室の講師派遣、糖尿病対策として、患者の食事指導に係わる専門医からの市職員への助言、消

防本部と協力した症例の研究会です。

心筋梗塞の死亡数ゼロを目指した「STOP MI キャンペーン」では摂津市をモデル地区とした全国初の取り組みも行っています。心筋梗塞の予防法だけでなく、症状を多くの市民に知っていただく機会にしたいと思っています。

また、当センターなどの専門医療機関とかがかりつけ医が、連携したプログラム作りも必要だと思えます。現在、高齢者の多くにかかりつけ医があり、高血圧や糖尿病などの治療を受けています。特定健診の結果を、かかりつけ医と共有し、予防や治療に役立てなければならぬと思います。

「健都」を全国へ

健都には健康をテーマにした公園や図書館、住まい、産業施設が整備されます。そこで行われるさまざまな取り組みが市民の皆さんの健康に繋がることを期待しています。健康づくりのモデルシティになり、全国的に発信していくことが最終目標です。

「健康・医療」に関する4つの連携

● 特定健康診査

保健センターで実施している特定健康診査に国立循環器病研究センターから健診医が派遣されています。

専門医が健診を行い、注意が必要な患者と地域のかかりつけ医と連携し、予防や病気の改善に努めています。

※健診の日程は17ページに掲載



● 糖尿病対策

市民に向けての糖尿病の原因や予防についての講演や、市の職員の栄養士や保健師に糖尿病患者への食事指導の助言を国立循環器病研究センターの専門医がしています。

※糖尿病予防教室は来年1月19日にコミュニティプラザで開催予定



● 市民健康教室

心筋梗塞や脳卒中、不整脈などの循環器疾患などさまざまなテーマで市民への普及・啓発のための教室を開催しています。

病気についての正しい知識と予防策を専門医が講演しています。



● 症例検討会

実際に救急搬送した症例を、消防職員の現場での判断と、搬送後の医師の判断を共有し、適切であったかどうかの検討会です。

医師と隊員が連携を深めながら、救急隊のスキルアップを図っています。



摂津市 STOP MI キャンペーン

心筋梗塞から大切な命を守ろう！！ part 2

～突然死を起こさないために～（市民健康教室）

国立循環器病研究センター 心臓血管内科 医長・田原良雄氏が、心筋梗塞の前兆や予防法について講演

11月30日（金）午後2時～3時半
コミュニティプラザ・コンベンションホール

問合せ 保健福祉課へ

※健幸マイレージ対象



摂津市 STOP MI キャンペーンとは

「STOP MI キャンペーン」の「MI」とは、「myocardial infarction」の略で、『心筋梗塞』という意味です。心筋梗塞の前兆の症状を知ってもらい、前兆の段階で治療を受けることで、心筋梗塞で亡くなる人を減らそうというキャンペーンです。